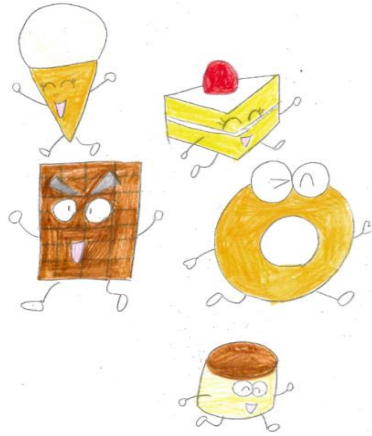


おかし 大好き



濱田茂雄

ボクの愛する恋の歌

曾根 朗

いつか触れて いつか泣いて いつか呼んで いつか揺れて
いつか重なる 人と人 そして始まる 愛
そして時が すこやかに あたためる 愛
そして時が すこやかに そだてる 愛

機動戦士ガンダム アニソンの引用

これは、私が気に入った「ピギニング」という詩からの引用です。障がいをもった自分がまったく障がいのない女の人と付き合い恋におちた時の気持ちを表してくれているように感じる。今は別れていますが、その女性は、私のこと、なぜ結婚しないのか理解してくれました。彼女は、2009年から別の人と結婚して子供が3人だそうです。最初の頃は、心が揺れてた

思障そ言障長十でも
つ害らわ害害か六も
ったじそわ害者か才私
やうれれ者のののの
ないだたのよののの
いよだたのよののの
もの私にみえな
の心よって
の中は

逃障三
げ害八
たくと十
くていう重い荷物を抱えて



私 障 害 に なん かな っ て な っ た ら と
思 う 時 が あ る
の ん き そ う に と 人 は 言 う
私 だ っ て バ リ バ リ 働 き た い
障 害 者 は 大 変 と 言 っ て み た い
内 な る エ ネ ル ギ ー の
行 き 場 は な い

絵も詩集から転載

編集後記

私は「産めよ増やせ」の時代、6人の弟妹の長男に育ち
今は第二人に先立たれて、一人になった弟もガンで弱り
生きていく張りを失いつつある。私たちの生涯で二人に
一人がガンに罹患するといふ。そして少子高齢化の波は医療
費・社会保障費を増やし、財政負担が次の世代に回されて
いく。税の取り方、使い方が有権者に問われて久しい。
政治経済の問題は複雑でわかりにくい、結局大きな枠
組みや政策が私たちの日々の生活に影響する。一方、
病や障害があっても、生きる張り合いをどのように持ち続け
て暮らしていけるのか、それをどう支えていくのかが日常一

字間行間もフォントも、A5版詩集から忠実に転載した。
全編を紹介したい想いがつのる。書の奥付に惜しいとある
が、才能あふれる人が四十余で人生を終えたことは真
に惜しい。病や障害の詩だけでなく、父母、恋人、暮らし、
日々折々のことなど、素晴らしい詩集となっている。メン
バーさんの投稿が少ない時に転載させてもらおうと思う。

お願い ~賛助会員になってください~

NPO法人そよかぜねっとは、精神しょうがいの
ある人たちが安心して、自分らしく、自立して暮らせる
地域創りを目指し、就労継続支援B型事業「やすらぎ
工房」の運営、啓発・広報、地域交流活動などを行って
います。

一人でも多くの方のご理解とご支援を願っています。

年会費：個人2千円・団体3千円

(会費は、法人の運営費に充当されます。)

~ご賛同頂ける方は、下記電話までご連絡ください~

払込用紙(手数料不要)を送らせていただきます。

☎ 0794-85-9990 ・ FAX 0794-60-4533

就労継続支援B型事業所 やすらぎ工房

障がい者本人が生きがいある暮らしを

理事長 伊東久雄

3月21日「こころの病 家族教室」48人参加

兵家連主催北播磨地区「こころの病 家族教室」
で当事者4人の体験と想いの発表から”本人が生き
がいある暮らしを！ 地域と家族はどう支え
ればよいか”をテーマに開催された。

やすらぎ工房からは曾根さん、Sさんが体験
発表、職員全員が事前準備と当日の会場設営に
協力した。

障害相談支援専門員の新銀茂氏による適切な
司会と助言から進行した第一部に、当事者4人は
それぞれの辛い病や、家族との関係、地域施設
等での体験等を発表。

～病をカミングアウト、一人暮らしへ「頑張ら
ないで頑張る」、幻聴から歩けない時もある、
今は親が元気でいてほしい、妻子がいて
就労定着を目指す、社会の偏見を感じる時がある、
子どもの病に悩む、親とは距離をおく、
「普通の生活がしたい」など～

そうして、しだいに自分、家族ともに病・障害
を受容、軽作業で日常のリズムをつけ人とのふれ
あいを経て、感謝の気持ちを抱き生きる目

最後に各人の夢などを自分の言葉ではっきりと
淡々と語っていただきました。参加者が拍手で
その感銘を表しました。

第二部で会場参加者との質疑応答、参加の当事
者・家族の感想や想いが出されました。当日のア
ンケートに、たとえば「長期入院の我が子には遠
い夢のようでしたが、4人の方はそれぞれ自立が
うかがえます」「支援者・当事者との合同話し合
いは素晴らしいと思いました」「貴重な体験を聴
かせていただき、たくさんのことを学び元気をも
らいました・・・」などと書かれてありました。

主催者・兵家連会長米氏、来賓・三木市障害
福祉課課長藤田氏を初め、当事者16人、家族
19人、支援者13人で、遠く西脇市、加西市
からも参加、総計48人になりました。

果たしてどれだけの参加があるのか、ヤキモキし
た担当ほのぼのの会責任者として大変ホッとしまし
た。皆さんの熱い協力・支援・参加にまことに感謝
するばかり、改めて厚く御礼いたします。

次にある言葉を紹介します。

星野富弘さんの詩から

よろこびが集まったよりも 悲しみが集まった方が
しあわせに近いような気がする
強いものが集まったよりも 弱いものが集まった方が
真実に近いような気がする
しあわせが集まったよりも ふしあわせが集まった方が
愛に近いような気がする

(「四季抄 風の旅」より)



これは、事故で首から下が動けなくなった重度障
害者、星野富弘さんの詩、口に絵筆をくわえて描く
素敵な絵で有名。”しあわせ”とは何かを考えさせ
られます。一度きりの人生、誰でも生きがいある人生
を求めています。



三木市総合保健福祉センター 26.3.21

体験や想いを語り合っ (T.H)

地域とつながり人間関係を大切に・・・

兵家連主催の「こころの病 家族教室」が、3月21日に三木市総合保健福祉センターで開催され、私は、体験と想いを、他の3人の当事者の方々と発表しました。私は、病気が発症して16年が経ちます。これまで病気と付き合いながら、就職をしたり、援護療に入って一人暮らしの練習をしたりしました。

就職は障がい者枠で経験のある仕事もしましたが、病が再発して退職しました。自分と同世代の人達と比べて、社会的に積み上げてきたものは少ないけれど、私は私なりのペースで楽しいことをしていればよいと思えるようになりました。

今は、作業所や地域活動支援センターに通い、仲間ができたことが私の大きな支えになっています。人は一人では生きられないから、人間関係を大切にしていきたいです。人間関係を築くためにも、自分の体調を整えていくことも大事だと思います。今回の催しを通じ、発表された当事者の方々や、参加の当事者の方々や、当事者の家族の想いも聞けて、とても励みになります。

訪問散髪始まる

平日の昼間に、やすらぎ工房内で散髪ができたらしめてみたい！との声に応じて、髪ステーションの山口剛さんが行っている「訪問散髪」というサービスを3月から導入しました。"心"を大切にしている山口さんの温かい人柄もあって、心も頭もスッキリする素敵なひとときを過ごせています。利用者の声を聞いてみると

- ・サッパリとした丸刈りが似合う西田さんー『いつも行っている散髪屋よりも良かった。やすらぎ内で利用できるのが助かる。山口さんがナチュラルな人なのも良かった。これからも継続して利用したい。』
・スッキリしたこだわりのヘアカットが似合う森本さんー『僕ら数人のために出張してもらってうれしい。わずか1500円という安い値段なのも感謝します。仕上がりが満足、希望通りにカットしてくれました。』
・ちょっと長めのセンター分けが似合う大賀さんー『行く手間がなく、値段も安くて良かった。スッキリ

送迎サービスを拡充

27/10からトヨタハイエースワゴン(乗客9人乗)を増備、毎日同時2便の送迎運行が可能になった。週2〜3日は施設外作業場(就労支援)への往復途次にも送迎するから3便の日もある。(夕便)

- ・以前のセレナは、人数が多い時は席の入れ替えが大変だったが、ハイエースになってから移動が無くて楽になった。
・うしろに ゆったりすわれるので うれしいです。
・たくさん乗れていいと思います。
・ハイエースは新しくて広いし多人数が乗れます。
・トヨタハイエースの方が乗りごちがいい。
・みんなで、セレナ、ハイエースに乗ってはやくドライブに行きたい。
・降りる時に足元が見えにくい。



TOYOTA ハイエースワゴン

発表をして思ったこと 長木綾子

病気をオープンにして一歩踏み出す・・・

3月21日、自分の病気について、たくさんの方の前で発表しました。私は、まだ安定していない統合失調症の症状について話しました。大勢の方の前で話すのは初めてでしたが、司会者の配慮もあり、緊張せずに話せました。

発表後、複数の方から、「私の家族もそうなんです」と声を掛けていただきました。発表して良かったと思えました。

私は、やすらぎ工房や、地域活動支援センター「みにょんち」のお陰で、発表できるまでに回復しましたが、今現在苦しんでいる人は多いようです。

こうした発表会を通じて、健常者の方の理解を進めることが大事だと思います。障がい者が自分の病気をオープンにしないと理解は進みません。

友達にも病気のことをクローズにしている人が多いです。私も一歩踏み出さなければと思いました。

この病気になってから、かけがえのない出会いをたくさん経験しました。仕事が出来なくても、大事なものは見つかるんだと思います。他の方の発表も、すごくプラスになりました。前向きに生きていこうと

昼休みはクラブ活動！

やすらぎ工房では、「楽しい時間の使い方を提案したい」「生活経験を増やして欲しい」との思いから、自主活動として、休憩時間を利用したクラブ活動を始めています♪

将棋サークル、アートクラブ(カルタ作り、塗り絵、折り紙)、スポーツクラブ(卓球、サッカー、キャッチボール)、自然遊び・昔遊び(こま回し、干し柿作り、アサガオの世話)、書道クラブ(展示会に2度出展)、実験クラブ(土曜開所に実施)、マジッククラブ(クリスマス会で披露)など不定期ですが、様々な活動を行っています！ まだ始動していませんが、えみZAP(ダイエツクラブ)や婚活クラブというユニークなものまで計画中です！

気候の良い今の時期のやすらぎ工房の昼休みは、スポーツを楽しむ歓声が建物の内外で響きわたって

利用者 年齢別人数表

職員 給与表

ボランティア 人数表

アクセス 地図情報

保有不動産 物件情報

施設概要 建物内訳表

利用者工賃 収入支出表

職員給料 給与詳細表

就労継続支援B型事業所 数字で見る『やすらぎ工房』

収入支出表 詳細

支出表 詳細

ホームページは [やすらぎ工房三木] 検索が楽です。

就労継続支援B型事業 第7年度

- ◆年間250日開所、3,537人が利用
(1日平均利用:14.1人) 対前年+1.0人
前年比 219人増
◆女性の利用が相変わらず少ない。(2面表)
(男 12.9人 女 1.3人 ..1日平均)
~右表4月の1日平均利用者 例~
・2名の女性により月平均では1.5人の利用
・16名の男性により月平均12.2人の利用(4人に1人の割合で休んでいる勘定)
◆利用者の工賃平均は9,715円/月
・年額 273千円 ~ 950円(最高~最低)

- ・B型事業 通年 7年
・法人事業 通年 8年(B型 3カ月)
・法人設立 以来 8年4カ月

- ~神戸やまぶき財団様から~
◆210万円の車両購入助成金が収受できた。
・共感寄付の収受金22万円と自己資金36万円を合わせ、トヨタ MI-EVJ 1台を増備。
◆精神障がい以外の利用が漸増定着傾向
・障がい別人数は、チャート上方(重複有)
・知的、身体障害は症状が固定化(精神との相違) → 利用の安定につながり易い →

1日平均利用者数(人) 延利用者数の男女比率

ひょうかれん兄弟会をご紹介します

私は、ひょうかれんに加入していますが、その中でも2カ月に1回、兵庫県福祉センターで行われている、「兄弟会」という会に参加させてもらっています。集まる人数は10名程度ですが、毎回、和気あいあいと話がはずみます。両親のこと、兄弟のこと、自分自身のこと、自分の家族のこと、病気のこと、障害の受け止め方、福祉制度のあれこれ、知識に詳しい人、経験のある人、いろいろな立場の方から教えてもらいます。

会のプログラムは特に決まっていますが、概ね、最近の家族の様子や、自分自身の経験から感じたこと、学んだことなどを2時間ぐらい話して終了です。一度参加した方は、次の会も参加されることが多いですね。多くを求めて行ったわけではないのですが、何となく心がホッとする2時間です。「障がい」と言う、ともすれば大変な事ばかりを想像してしまうのに、何故か、ホッとする温かい言葉に多く触れることができます。私たちが真に求めている、「普通の暮らしのありがたみ」を実感できる時間です。

新銀輝子